

合鍵にわずかな溝や青嵐（高崎高校3年・大橋弘典）

連作句会は私にとって初めての経験だったので、つくることも他の皆さんの作品を読むことも「こんな感じで良いのかな」と悩みながらやりました。なので今回の句会に参加し、参加者の皆さんから句単体や連作としての意見をたくさんいただけたことが、私にとってたいへんためになりました。時間も限られていたのであまり深く吟味せず選んでしまい、ほとんど取り合わせになってしましまして、今後はそのあたりの改善や連作中で切れるカードの種類を増やすこと、連作にあったテーマをつけることに注意して連作を編んでいきたいです。

放課後の雲の明るき山桜（立教池袋高校 藤井万里）

連作句会は参加させていただいて2回目でした。今回は大学生が多めで、自句に対しても、採らなかった連作に対しても深い評を聞くことができ、前回以上に、実作より鑑賞の面で学ぶことが多かったです。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと考えています

短夜や繪の中へ逃げ繪盗人（俳句賞「25」実行委員 柳元佑太）

委員として参加しました。高校生の皆さまと句座を共にすることが出来、刺激的で楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。自分が高校生のをときを振り返ると恥ずかしくなるようなしっかりとした選評を皆さまがされていて驚きました。時間が合うときはまた参加したいと考えていますので、またぜひ句を語り合えたらなと思っています。

いろいろ試行中の連作句会も二度目を迎えました。リピーターの方や見学の大学生にも参加いただき、いろいろな角度から細やかな評を交わすことができました。今回参加してくださったみなさん、ありがとうございます！そして高校生のみなさん、次回お待ちしております……！（俳句賞「25」実行委員 岩田奎）

前回に続き、委員として参加しました。定期的に連作を編むことで、高校生の皆さんの俳句の基礎体力アップの一助となれればと思います。また定期的に開催しますので、よろしくお願ひします。7句が少ししんどいときは減らす、あるいは出句はなしでコメントだけの参加も可能です。より多くの高校生の皆さんと句座を囲めればと思います。（俳句賞「25」実行委員 中矢温）